

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY**MAY 1-31, 2006**

5月8日、厚生労働省は、メタボリックシンドロームに関する調査結果を発表した。その結果によると、40～74歳の人のうち940万人がメタボリックシンドロームの強い疑い、1,020万人が予備軍と考えられ、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、危険水域に該当する、という深刻な状況が明らかになった。一方、「健康日本21」では、20代女性の痩せすぎを問題視し、痩せ(BMI<18.5)の割合を15%以下へ引き下げることが目標に設定している。また、キンピールが実施した「ダイエットに関する女性の意識調査」では、女性の65%は自分が「太っている」と考えているが、BMI値で見るとやせ型から標準体型の人が84%。実態以上に自分の体型を気にしている人が多い、という結果が出ている。昨年来、食事代替型ダイエット食品(シェーク・タイプ)市場への新規参入が盛んであるが、これらの商品の顧客の多くは20代、30代の女性であると言う。つまり、本当に痩せなくてはならない人々には支持されていない、とも言う事ができる。

花王『ヘルシアウォーター』やサントリー『黒烏龍茶』はそれらとは違う、大きな潜在市場へ向けられた商品であると考えられる。今までは40歳以上の男性に対するダイエットサポート商品はあまり多くはなかった。また、若い女性と比較してモチベーションが低いという理由もあり、ヒット商品も見当たらない。

それに引き換え、体脂肪/中性脂肪をターゲットとした特保は短期間で大きな市場を形成した。直接的な「ウェイト・ロス(低カロリー)」ではなく「ファット・マネジメント」をサポートする商品の方が男性にはわかりやすいのではないだろうか。

NEW PRODUCTS**キューピー、飲みやすい「黒酢&五穀酢ドリンク」と「梅酢&りんご酢ドリンク」を発売**

近年、健康意識の高まりから、家庭で「お酢を飲む」という行為が定着しつつあり、継続してお酢を飲む人が増加している中、キューピー株式会社は、「黒酢&五穀酢ドリンク(360mL)」、「梅酢&りんご酢ドリンク(360mL)」を、5月19日から全国に出荷する。「黒酢&五穀酢ドリンク」は、一般向けお酢ドリンクとして大麦黒酢、米黒酢と五穀酢を使用した深みのある味、「梅酢&りんご酢ドリンク」は、梅酢とりんご酢をブレンドしたさわやかな酸味。両製品とも、ハーブの風味をアップし飲みやすくし、容量や価格なども含め全面的に見直され、一層購入しやすく、継続して飲みやすいお酢ドリンクに仕上がっている。(2006年5月1日 キューピー(株) プレスリリース)



明治製菓、緑茶フッ素配合の特定保健用食品ガム「キシリッシュ+F ナチュラルミント」を発売

明治製菓株式会社は、キシリトール配合ガムの「キシリッシュ」ブランドから日本で初めて緑茶フッ素を配合した特定保健用食品「キシリッシュ+F ナチュラルミント」を5月16日より関東地区で発売する。フッ素コーティングで歯の表面を改善し、虫歯の原因となる酸に溶けにくい状態



にする新機能を持つ商品の投入により、キシリッシュブランド全体の拡大とガム市場の活性化を図っていく。(2005年5月10日 (株)明治製菓 プレスリリース)

ヤクルト、体力と体型をマネジメントする機能性飲料「ソーपीード」を発売

株式会社ヤクルト本社は、オーストラリアの水泳選手であるイアン・ソープ氏が立ち上げた機能性食品ブランド「THORPEDO(ソーピーード)」および同氏の肖像権を使用した飲料の開発・製造・販売等を日本国内で独占的に行なうことができるライセンス契約を昨年12月に締結した。この契約に基づき、オーストラリアで販売されている「THORPEDO(ソーピーード) Water(ウォーター)」の基本コンセプトである低GIを踏襲し、内容成分や風味等を日本向けに合わせ



せた、体力と体型をマネジメントする機能性飲料「THORPEDO(ソーピーード)」をイアン・ソープ氏と共同開発し、5月30日から新発売する。「THORPEDO(ソーピーード)」の広告活動では、テレビ・新聞・雑誌広告および、専用ホームページ(www.thorpedo.jp)、店頭・自動販売機・ヤクルトレディにおける販促資材に至るまで、イアン・ソープ氏が「THORPEDO(ソーピーード)」と共に登場し、早期のブランド認知と商品コンセプトである低GIの訴求活動を一齐に展開する。初年度の販売目標は350万ケース。(2006年5月11日 (株)ヤクルト本社 プレスリリース)

ファンケル、健康スナック「発芽米健康ポップライス」<甘醤油> <しそ風味>を発売

株式会社ファンケルは、「発芽米」の栄養素を活かした健やかスナック「発芽米健康ポップライス」から、人気の味付きタイプ2種を5月19日より、通信販売及び直営店舗にて限定発売する。近年、生活習慣病(糖尿病、高血圧など)や肥満、また美容意識の高い



人の中でカロリー摂取に気を使う人が増えているのを背景に、定番商品の「発芽米健康ポップライス」<無塩>と<七穀>に、さらに新しく<甘醤油>・<しそ風味>の味付きタイプを期間限定で追加。「発芽米健康ポップライス」シリーズは、発芽米100%使用しているため、ギャバや食物繊維、ビタミン、ミネラル等の豊富な栄養を損なうことなく摂取することができる上、低カロリーで、腹持ちもよく、カロリーが気になる人にはうれしい商品となっている。(2006年5月19日 (株)ファンケル プレスリリース)

ライオン、「健康」と「美」をサポートする「健美創研」ブランドから2商品発売

ライオン株式会社は、ストレスフルな現代を生きる女性の「健康」と「美」をサポートするブランド「健美創研」から、「トマト酢」と「GABA」配合で、翌朝のすっきり感をサポートする天然系快眠サポート飲料『グッスミン』を6月6日から新発売する。同社では、「トマト酢」と「GABA」を組み合わせた食品の特許を出願している。現代の女性は、「ストレス」や「手足の冷え」などで熟眠感を得られず、睡眠に不満を持



っている人が多く、特に30歳代以降の女性の6割以上が、「薬ではない、手軽に使える飲料など」を求めているというニーズを背景にした商品である。

また、同じく「健美創研」ブランドから、コラーゲンの合成をサポートする「フラバンジェノール」と吸収されやすい「低分子コラーゲン」を配合した、美容サポート飲料『キューブルン』を6月6日から新発売する。(2006年5月15日 ライオン(株) プレスリリース)

ライオン、「トマト酢」の天然系活力酢ドリンク「グロンサン トマトの赤酢ドリンク」を発売

ライオン株式会社は、『グロンサン』シリーズから、天然系活力酢である「トマトの赤酢」に「GABA」、「葛花エキス」などを配合した『グロンサン トマトの赤酢ドリンク』を6月6日から新発売する。近年、健康意識が高まる中、健康のために「お酢」が良いことから、黒酢や果実酢などのおいしく飲みやすい酢飲料への関心が高まっている。そこで、毎日の健康に気遣う働き盛りの男女のために、トマトを発酵させて造ったトマト酢にGABA、葛花エキスなどを配合した『グロンサン トマトの赤酢ドリンク』を新発売する。(2006年5月15日 ライオン(株) プレスリリース)



日清オイリオグループ、リラックスサプリメント「ひと息つこう 癒されタイム」を通販限定で発売

日清オイリオグループ株式会社は、「ギャバ」に「テアニン」、「カルシウム」を加えたサプリメント「ひと息つこう 癒されタイム」を通信販売限定で新発売する。1粒中に「ギャバ 10mg」「テアニン 40mg」「カルシウム 10mg」を配合、飲みやすい小粒のタブレット、「タイム」のやさしい香りの他、商品のパッケージも、携帯しやすいチャック付アルミ袋で、挿絵画家 沢野ひとし氏の見る人を「ほっとさせてくれる」イラストを採用するなど、ひと工夫されている。(2006年5月15日 日清オイリオグループ(株) プレスリリース)



カルピス、30代～50代向け「健彩生活/アミール・サプリメント」など通販限定で発売

カルピス株式会社は、サプリメント「健彩生活/アミール・サプリメント」および「健彩生活/アミール+カテキン」を5月23日から通販限定で発売する。サプリメント「健彩生活/アミール・サプリメント」は、特定保健用食品「アミールS」と同量の血圧に關与する「LTP(ラクトリペプチド)」を3.4mg配合し、「健彩生活/アミール+カテキン」は「LTP(ラクトリペプチド)」3.4mgと、強力な



抗菌力、抗酸化力が知られている茶カテキンを 450mg 配合している。本商品で、通販限定商品の拡充を図る狙いである。(2006年5月15日 カルピス(株) プレスリリース)

ノバルティスニュートリション、高齢者の床ずれにアルギニン滋養ゼリー「アイソカル・ジェリー Arg」を発売

ノバルティスニュートリション株式会社は、アルギニン滋養ゼリー「アイソカル・ジェリー Arg(エーアールジー)」を5月17日より発売する。アイソカル・ジェリー Argは、褥瘡(床ずれ)の予防や治療において重要な役割を果たす栄養素であるアルギニン、カルシウム、鉄、亜鉛などに加え、高齢者に不足しがちな栄養素を効率よく配合したゼリー状補助食品である。咀嚼・嚥下低下時に求められる理想的食塊形成に必要な条件をバランスよく満たしており、誤嚥・窒息のリスクを低減し、安心・安全に摂取することが可能である。アイソカル・ジェリー Argは、全国の特約店を通じて、医療機関や老人ホーム、老人保健施設などの高齢者施設に販売されるほか、在宅の方々にも宅配販売にてお買い求めいただける。(2006年5月15日 ノバルティスニュートリション(株) プレスリリース)



花王、特定保健用食品のスポーツドリンク「ヘルシアウォーター」を発売

花王株式会社は、「ヘルシア」ブランドから、茶カテキンを豊富に含む特定保健用食品のスポーツドリンク「ヘルシアウォーター」を5月27日から新発売する。特定保健用食品の中で、体脂肪に関する表示許可を取得したスポーツドリンクは、「ヘルシアウォーター」が初めてである。味は、爽やかなグレープフルーツ味。「本品は茶カテキンを豊富に含んでおり、エネルギーとして脂肪を消費しやすくするので、体脂肪が気になる方に適しています」と許可表示されており、スポーツや運動を習慣化することが難しい人でも、継続して飲むことで体脂肪への確かな効果が期待できる商品である。(2006年5月16日 花王(株) プレスリリース)



株式会社ロッテ、1箱に12グラムの食物繊維が入ったビターチョコレート「センイプラス」を発売

株式会社ロッテが、1箱に12グラムの食物繊維が入ったビターチョコレート『センイプラス』を2006年5月9日から全国で発売する。日本人の食物摂取量の目安は1日20~27グラム。一方、平均食物摂取量は14.2グラムと、1日平均6グラムの食物繊維が不足しており、『センイプラス』半箱で不足分を摂取することが出来る。食物繊維はカカオの他に、「とうもろこし」由来の繊維も配合。「チョコレートをちょっと食べたいが健康にも気遣いたい」20代の女性をターゲットにしている。(2006年5月9日 ロッテ(株) プレスリリース)



COMPANY NEWS

大正製薬とヤヨイ食品、食品事業で業務提携

少子高齢化社会本格時代の到来に際し、食品業界でも健康をテーマにした商品への要請が高まっている事を背景に、大正製薬株式会社とヤヨイ食品株式会社は、食品事業に関する業務提携に合意した。今後は、両社がそれぞれの企業の経営資源を有効活用し、少子高齢化社会における新市場開拓、新顧客創造に向けての高品質・高付加価値食品のマーケティング企画開発等を、中長期的戦略に基づき行うことになる。(2006年5月22日 大正製薬(株)、ヤヨイ食品(株) プレスリリース)

ファンケル、第二次中期3ヶ年計画発表

株式会社ファンケルは、第二次中期3ヶ年計画「FANCL Change & Challenge Plan Phase 2」(2006～2008年度)を5月1日に発表した。同計画では、「着実な利益成長を遂げる」ことを掲げ、2008年度には、過去最高売上・利益業績の達成を目指す。2008年度の目標連結売上は1,150億円、連結経常利益は150億円。化粧品関連事業では、機能性を重視した市場競争力のある製品開発を進め、主力の基礎化粧品はブランドの再構築を行い、敏感肌市場でのシェア拡大を図る。栄養補助食品関連事業では、高付加価値化を図り、美容補助食品の強化とともに、中高年層を対象とした製品開発を進めていく。また、「発芽米」「青汁」などのその他事業では、製品ラインナップの拡充により売上拡大を図り、黒字化を目指す。また、販売チャネル戦略では、各チャネルの強みを生かし、シナジー効果の顕現化を図る。店舗販売、海外展開(中国市場の開拓)、最も収益性の高いインターネット販売を強化する。(2006年5月1日 (株)ファンケル プレスリリース)

SCIENSE NEWS

サントリー、カロリー調整食品の減量効果に関する有効性を発表

サントリー株式会社は、カロリー調整食品の継続摂取により、体重、体脂肪、腹部周囲径などの減少効果ならびに脂肪燃焼促進効果が得られることを、京都大学大学院人間・環境学研究科(森谷敏夫教授)との共同研究で見出し、第60回日本栄養・食糧学会大会(2006年5月19日～21日、静岡県)で発表した。(2006年5月22日 サントリー(株) プレスリリース)

キッコーマン、「しょうゆ乳酸菌」が「通年性アレルギー性鼻炎」の症状を緩和する効果を確認

キッコーマンは、日本赤十字社和歌山医療センター(耳鼻咽喉科・榎本雅夫部長)と共同で行った臨床実験で、しょうゆ諸味(もろみ)から分離した「植物性乳酸菌」が「通年性アレルギー性鼻炎」の症状を緩和する効果を臨床試験で初めて確認した。5月30日からの日本アレルギー学会春季臨床大会で発表する。植物性乳酸菌である「しょうゆ乳酸菌」でこのような効果が発見されたのは初めてのことである。(2006年5月25日 キッコーマン(株) プレスリリース)

キューサイ子会社の日本サプリメントが豆鼓エキスの高脂血症改善作用を確認

日本サプリメント株式会社は、すでに、糖尿病改善作用の効果を確認し、「血糖値が気になり始めた方」に対する特定保健用食品として許可を得ている豆鼓(トウチ)エキスについて、高脂血症の改善に有用なことを確認した。豆鼓(トウチ)エキスを用いた糖尿病自然発症マウス試験では、高血糖のみならず、中性脂肪も有意に低下し、インスリン抵抗性改善作用が示唆された。18名の糖尿病患者でのオープントライアル試験では、糖尿病改善作用のみでなく、血中に含まれる中性脂肪も有意に降下。研究結果は、5月26日に東京国際フォーラムで開催された「第49回日本糖尿病学会年次学術集会」で発表される。(2006年5月29日 キューサイ(株) プレスリリース)

キューサイ、ケール青汁投与が受動喫煙に伴う免疫異常を抑制傾向と発表

キューサイ株式会社は、山口県立大学大学院(森口覚 生活科学部栄養学科教授)と共同で、緑黄色野菜ケールを原料とする青汁の免疫機能調節作用を検討し、ケール青汁投与が受動喫煙に伴う免疫異常を抑制する傾向を確認した。この研究結果は、5月20日「第60回日本栄養・食糧学会大会」で、「受動喫煙に伴う免疫異常に対する青汁添加食投与の影響」として発表される。(2006年5月22日 キューサイ(株) プレスリリース)

MARKET NEWS

キリン、「ダイエット」に関する女性の意識調査結果を発表

キリンビール株式会社のキリンお酒と生活文化研究所で、「ダイエット」について5月上旬に全国の20歳以上の男女を対象にインターネット調査を実施し、女性の意識を中心にまとめた(5,123人の有効回答)。これによると、女性の65%は自分が「太っている」と考えているが、BMI値で見るとやせ型から標準体型の人が84%。実態以上に自分の体型を気にしている人が多い。ダイエット経験者は女性全体の約8割に上るが、その成功率は約3割にとどまっている。太った原因の1位が運動不足である一方、実際のダイエット方法では(1)間食をやめる、(2)甘いものや脂っこいものを控える、(3)食事の量を減らすなど、食事制限によるダイエットが中心。話題のダイエットサポート食品は、4人に1人が利用している。ダイエットする男性の55%は妻の協力を得ているのに対し、女性の55%は協力者がいない孤独なダイエットを行っているのが実情。ダイエットに関する情報源は、1位テレビ、2位雑誌について、「ブログなどのインターネット」がランクイン。また、ダイエットを始めるきっかけとして、「体重が増えた」や「贅肉が気になり始めた」は男女共通だが、男性は「健康診断の数値が悪化」など健康を意識した回答が目立つのに対し、女性は「洋服がきつくなった」「好みの洋服が着たい」が上位となるなど、見た目やファッションを重視する傾向がある事が分かった。(2006年5月25日 麒麟麦酒(株) プレスリリース)

花王、サラリーマン・OL対象の「飲みものの摂取意識と実態調査」結果を発表

花王株式会社は、ヘルスケア分野における栄養代謝や肥満研究の取り組みの一環として、サラリーマン・OL800人を対象に、「飲みものの摂取意識と実態調査」を行った。調査によると、肥満予防・対策としての「飲みもの」への意識は「食事」「運動」に比べて低く、「何を飲むか」という中身に関しても、男性サラリーマンを中心に意識が低くなりがちな実態であることが明らかになった。この調査は、健康に関する意識調査に加え、平日/休日の飲みものの摂取内容を日記形式で記録した、ほとんど前例のないもの。結果は、1日の平均水分摂取量は500mLペットボトル約3本分の1,486mL。これは、成人の必要量の目安とほぼ同量であり、65%の人が十分な水分を取っていると自覚している。

飲料の種類は、コーヒーや清涼飲料水など嗜好品が35%、アルコールが17%、あわせて半数を占める。現代サラリーマン・OLの6割は自分が太っていると自覚しているものの、肥満対策として取り組むことのトップは「食事に気をつける」76%、続いて「運動する」65%、「飲みものに気をつける」は46%と半数以下に留まった。メタボリックシンドロームが社会問題化する昨今、「どれ位飲むか」だけでなく「何を飲むべきか」についても、意識を高く持つことが重要になってきていると言える。(2006年5月30日 花王(株) プレスリリース)

厚生労働省がメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に関する調査結果を発表

厚生労働省は、平成16年国民の健康・栄養の調査の結果を2006年5月8日に発表し、心筋梗塞や脳梗塞などの重大な病気を引き起こすメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が社会問題化している事が明らかになった。調査によると、メタボリックシンドロームが強く疑われる人と予備群と考えられる人を併せた割合は、男性は30歳代で約20%、40歳代で40%以上に、女性は30歳代で約3%、40歳代で10%以上になり、男女とも40歳以上が特に割合が高い。40~74歳のうち940万人がメタボリックシンドロームの強い疑い、1,020万人が予備軍と考えられ、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、危険水域に該当することになる。メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の診断基準の1つである腹囲が男性85cm、女性90cm以上の人は、未満の人に比べ、血中脂質、血圧、血糖のいずれかのリスクを2つ以上有する割合が高いことが分かった。(2006年5月8日 厚生労働省)